

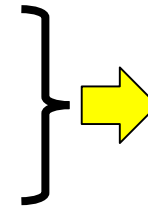


インテリジェント触媒の開発

独立行政法人 日本原子力研究開発機構 西畑保雄
ダイハツ工業株式会社 田中裕久

背景・目的

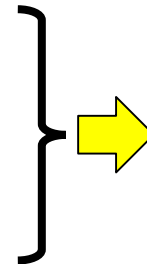
- ・世界的な排ガス規制の強化
 - ・中国・インドなどでの自動車の普及
- 貴金属使用量の削減が必要**



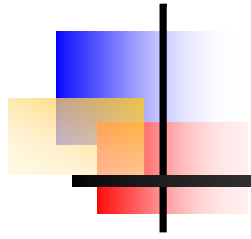
**貴金属の
需要増大**

産学官連携による成果

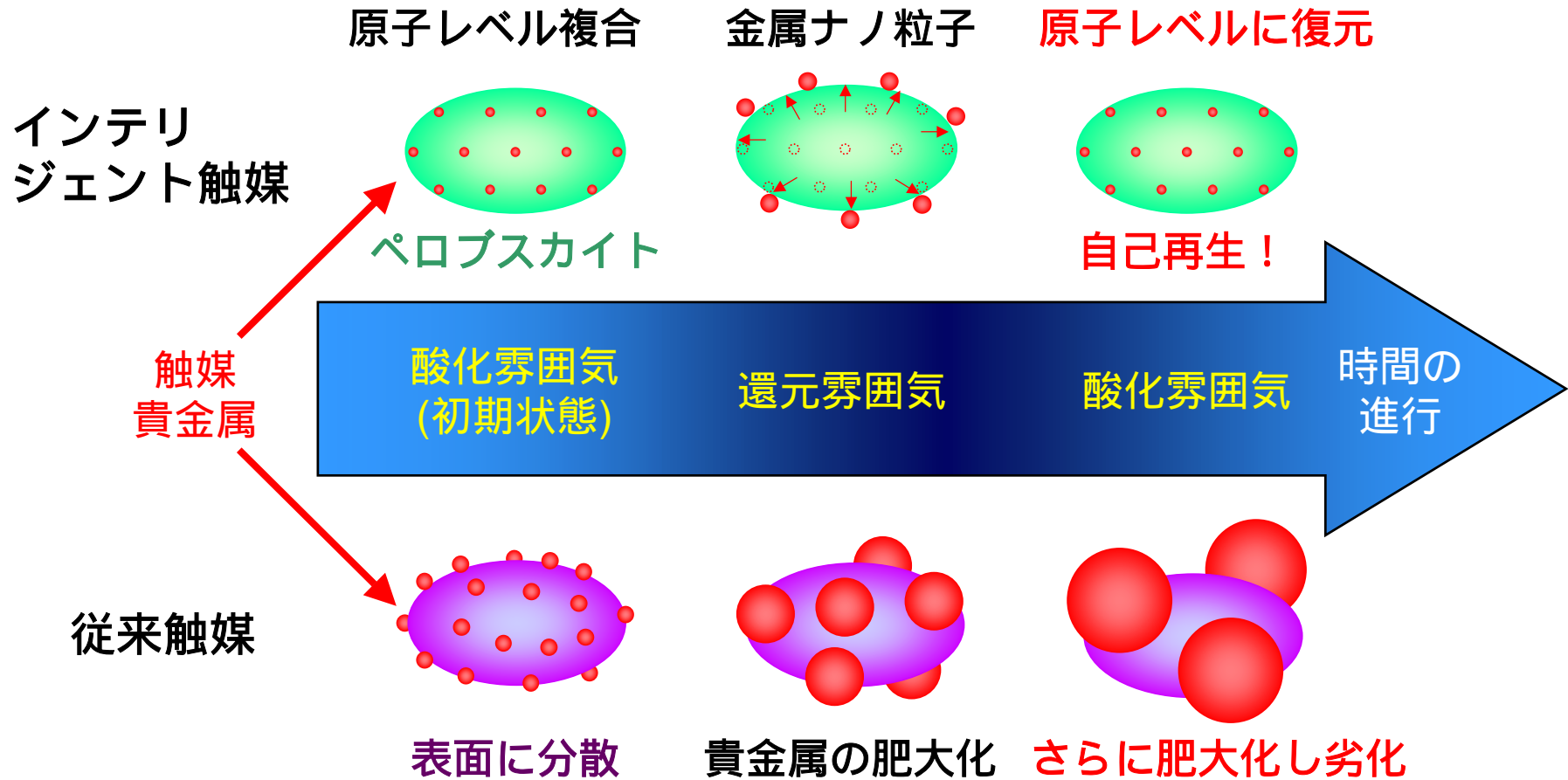
- ・劣化しない自動車触媒の原理
(自己再生機構)の解明
- ・大幅な貴金属使用量の削減に成功



**グローバル
スタンダード**

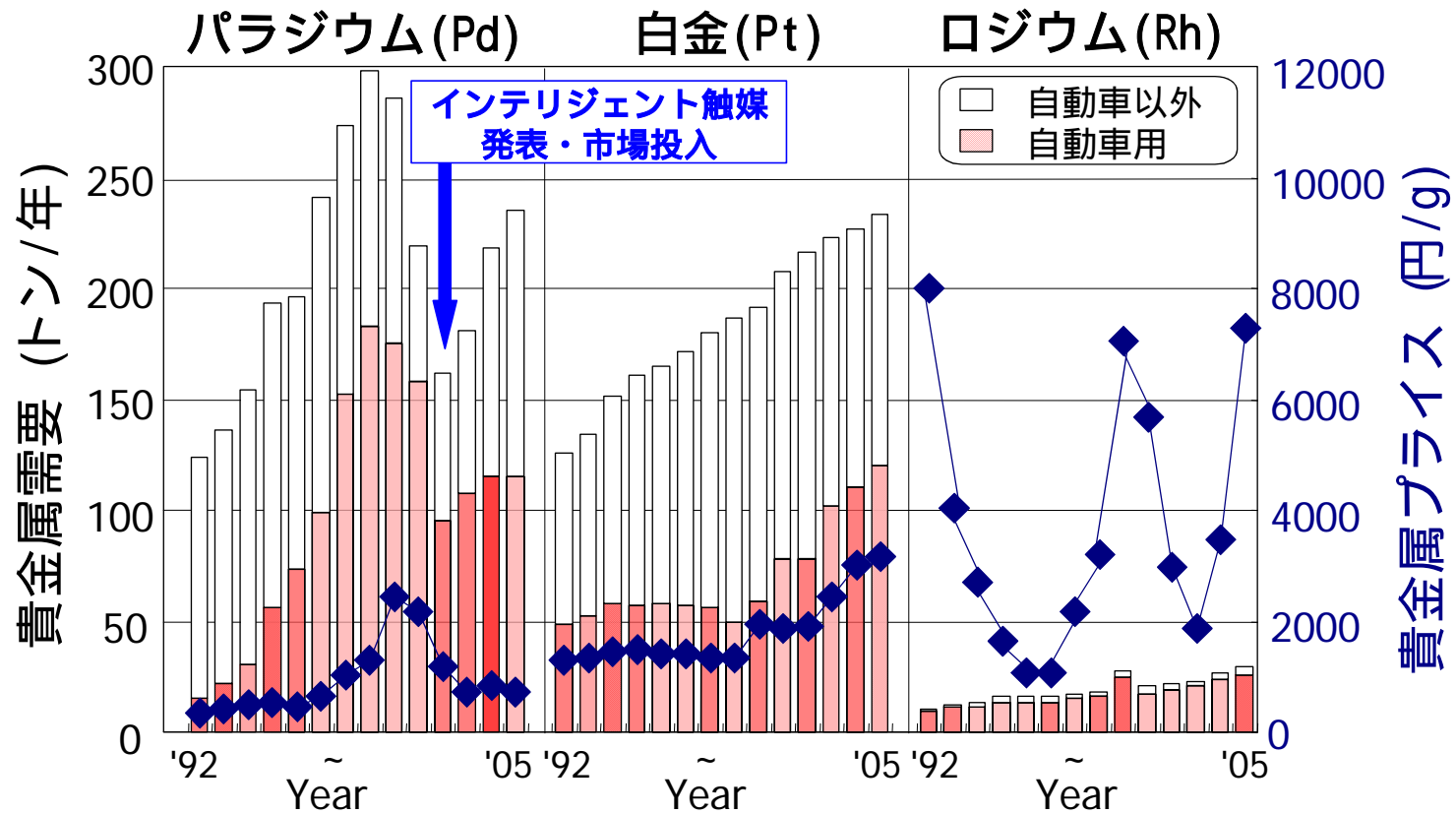


インテリジェント触媒の自己再生



インテリジェント触媒の市場への貢献

インテリジェント化に成功 Pd(2002), Rh(2005), Pt(2006)



年間約100トンのパラジウムが他の産業に転用可能

原子力機構とダイハツ工業の役割

